

別記様式第 1 号

書類の記入日を入れてください。

令和●年●月●日

株式会社マイファーム

代表取締役社長 西辻 一真 様

所在地

●●県●●市●●●●

(法人であれば法人名) 株式会社●●●●

事業実施者名 有機 太郎

令和 6 年度有機農業新規参入者技術習得支援事業に係る事業実施計画の承認及び交付申請について

令和 6 年度において、下記のとおり事業を実施したいので、有機農業新規参入者技術習得支援事業実施要領（令和 6 年 6 月 2 4 日通知。以下「実施要領」という。）第 5 の 1 の（2）規定に基づき、事業実施計画を承認申請するとともに、補助金の交付を申請する。

記

1 事業の内容

別添事業実施計画のとおり

注をご確認ください。

2 事業に要する経費及び負担区分

見積等の金額を記入してください。

事業の内容	事業費	うち	備考
		国庫補助金	
(1) 有機 J A S 講習会の受講	11,000円	10,000円	減額した額1,000円
(2) ほ場実地検査の受検	120,000円	90,000円	含税額
合 計	131,000円	100,000円	

注： 備考欄には仕入に係る消費税等相当額について、これを減額した場合には「減額

事業費のうち、本事業での請求予定金額を記入してください。

上限：(1) 30,000円 (2) 90,000円

した金額〇〇円」を、同税額がない場合は「該当なし」と、同税額が明らかでない場合には「含税額」とそれぞれ記入すること。

※消費税は原則自己負担(要領第6の2)となりますので、国庫補助金(=補助金)からは減額下さい。実地検査の交通費等概算額が含まれる場合には、備考欄に「含税額」と記載し、実績報告時に合わせて修正下さい。

3 事業完了予定年月日
令和 ●年 ●月 ●日

令和7年2月28日までに事業完了とすること。
※事業の完了とは、実績報告書類(領収書等含め)を提出できる日付のことを指します。実施日ではないのでご注意ください。

4 添付資料

令和6年度有機農業新規参入者技術習得支援事業 事業実施計画書

別添(別記様式第1号関係)のことです。以降次ページ以降参照ください。

別添 (別記様式第1号関係)

令和6年度有機農業新規参入者技術習得支援事業 事業実施計画書

1. 事業実施農業者の概要

(1) 事業実施農業者氏名 (法人の場合は、法人名を記入)

ふりがな	ゆうき たろう
事業実施 農業者氏名	有機 太郎
法人名	株式会社●●●

(2) 連絡先

住所	〒123-1234 ●●●県●●●市●●●
電話番号	●●●-●●●●●-●●●●●
Mail	Organic@yuuki.co.jp

(3) 経営概要

栽培面積 (a)	● a	うち有機農業の 面積(a)	● a
栽培品目	(主な品目3つ以内) ●●●、▲▲▲、■ ■ ■		

2. 事業実施要件等の確認

(1) 以下の①、②、③であることを約束する場合は、右の四角にチェックを入れること。

① 営農の一部若しくは全部において国際水準の有機農業*に取り組んで5年以内である、もしくは今後取り組むことを予定していること。 <small>※国際水準の有機農業とは… 有機農産物の日本農林規格(平成17年10月27日付け農林水産省告示第1605号)第4条の基準を満たす生産方法</small>	<input checked="" type="checkbox"/>
② 過去に有機JAS認証取得のためのほ場実地検査を受けていない。	<input checked="" type="checkbox"/>

内容を確認後、チェックを入れてください。

(2) 以下の①、②について右欄に時期を記載すること。

① 国際水準の有機農業を開始した時期 <small>(※有機農業を開始している場合のみ回答)</small>	令和●年 ●月
② 有機JAS認証を取得する予定の時期	令和●年 ●月

(3) 以下の①、②について同意する場合は、右の四角にチェックを入れること。

① 本事業期間中または終了後、有機JAS認証を取得する意向がある。	<input checked="" type="checkbox"/>
② 弊社が行う本事業に関わるアンケート調査や翌年度以降に行う有機JAS認証取得状況調査に協力する。	<input checked="" type="checkbox"/>

内容を確認後、チェックを入れてください。

3. 事業の内容

(1) 有機JAS講習会の受講

実施年月日	講習会を開催する認証機関名	受講者の氏名 (法人の場合は役職も記入)
令和●年 ●月●日	●●●認証協議会	有機太郎 (代表取締役)
令和●年 ●月●日	●●●認証協議会	有機次郎 (生産行程管理責任者)

注：法人の場合は、受講者の氏名欄に、法人内の責任者であることがわかる役職（代表者、生産行程管理責任者等）等を記入すること。

(2) ほ場実地検査の受検

実施年月日	検査を依頼する認証機関名	検査を受けるほ場面積 (a)	検査を受ける当該ほ場の栽培品目 (主な品目3つ以内)
令和●年 ●月●日	●●●認証協議会	●a	●●●、▲▲▲、■ ■ ■

別記様式第1号 第2項と同様の内容を記載ください。

見積等の金額を記入してください。

4. 事業実施経費

事業の内容	事業費	うち	備考
		国庫補助金	
(1) 有機JAS講習会の受講	11,000円	10,000円	減額した額1,000円
(2) ほ場実地検査の受検	120,000円	90,000円	含税額
合計	131,000円	100,000円	

事業費のうち、本事業での請求予定金額を記入してください。
上限：(1) 30,000円 (2) 90,000円

5. 振込先口座の情報

フリガナ	ユウキ タロウ
口座名義	有機 太郎
金融機関名	銀行 金庫 信組 ●●店 ●●農協
口座種別	普通・当座
口座番号	0012345

添付したものにチェックを入れてください。

6. 添付資料 (チェックリスト)

資料の種類	添付
事業費の根拠となる資料	
①有機JAS講習会受講料	<input checked="" type="checkbox"/>
②ほ場実地検査受検料	<input checked="" type="checkbox"/>
振込先口座情報を確認できる資料	<input checked="" type="checkbox"/>

注： 添付した資料には、添付欄にチェックを入れること。

事業費の根拠となる資料として、当該認証機関による見積書または料金表のコピー等を添付すること。

振込先口座情報を確認できる資料については、振込先金融機関名、支店名、預金の種別、口座番号等が確認できる預金通帳のページのコピーを添付すること。